

2020年度収支決算案及び公益目的支出計画実施報告書案承認の件

1. 定款第40条第1項の定めに従い、2020年度収支決算案(注1)の承認並びに同案を総会に諮ることの承認、を求める。

2. 法令に基づき、公益目的支出計画実施報告書案(注2)の承認並びに同案を総会で報告すること、の承認を求める。

(注1) 理事会資料2添付1『2020年度会計報告等及び2020年度監査報告』の1.収支決算案(1)～(4)

(注2) 理事会資料2添付1『2020年度会計報告等及び2020年度監査報告』の2.公益目的支出計画実施報告書案

2020年度会計報告等及び2020年度監査報告



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

2020年度会計報告等

1.収支決算案

(1) 貸借対照表	----	1
(2) 正味財産増減計算書	----	2
正味財産増減計算書内訳表	----	
(3) 財務諸表((1)及び(2))に対する注記及び附属明細書	----	4
(4) 財産目録	----	8
2.公益目的支出計画実施報告書案	----	9

2020年度監査報告

3.独立監査人の監査報告書

4.監事監査報告書

貸借対照表

2021年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	421,515,602	333,801,098	87,714,504
未収金	17,668,384	57,003,370	△ 39,334,986
未収利息	2,684,366	4,040,927	△ 1,356,561
未収税金	0	3,996,580	△ 3,996,580
前払金	5,181,722	4,591,507	590,215
前払費用	7,618,049	5,930,712	1,687,337
貸倒引当金	△ 172,638	△ 172,638	0
流動資産合計	454,495,485	409,191,556	45,303,929
2 固定資産			
(1) 特定資産			
ICANN等積立資産	1,008,009	1,030,726	△ 22,717
減価償却引当資産	201,719,173	201,719,173	0
インターネット基盤整備基金資産	1,243,765,549	1,193,853,488	49,912,061
特定資産合計	1,446,492,731	1,396,603,387	49,889,344
(2) その他固定資産			
建物附属設備	9,949,098	11,970,402	△ 2,021,304
什器備品	28,640,738	27,861,533	779,205
ソフトウェア	31,090,473	30,706,708	383,765
電話加入権	1,385,136	1,385,136	0
敷金	34,706,000	30,107,000	4,599,000
関連会社株式	140,170,000	140,170,000	0
長期前払費用	4,498,221	4,098,114	400,107
繰延税金資産	7,772,068		7,772,068
その他の固定資産合計	258,211,734	246,298,893	11,912,841
固定資産合計	1,704,704,465	1,642,902,280	61,802,185
資産合計	2,159,199,950	2,052,093,836	107,106,114
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	17,178,459	11,759,889	5,418,570
前受金	550,000	275,000	275,000
預り金	775,900	932,240	△ 156,340
賞与引当金	29,242,295	28,888,513	353,782
未払消費税等	7,358,200	9,282,600	△ 1,924,400
未払法人税等	4,753,500	2,791,900	1,961,600
流動負債合計	59,858,354	53,930,142	5,928,212
負債合計	59,858,354	53,930,142	5,928,212
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			0
指定正味財産合計	1,007,993	1,030,719	△ 22,726
(うち特定資産への充当額)	(1,007,993)	(1,030,719)	△ 22,726
2 一般正味財産	2,098,333,603	1,997,132,975	101,200,628
(うち特定資産への充当額)	(1,445,484,738)	(1,395,572,668)	49,912,070
正味財産合計	2,099,341,596	1,998,163,694	101,177,902
負債及び正味財産合計	2,159,199,950	2,052,093,836	107,106,114

(注) 実施事業資産は次のとおりです。

 | その他固定資産 什器備品 1,748,516

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(17,998,431)	(20,333,165)	(△2,334,734)
減価償却引当資産受取利息	221,891	465,225	△ 243,334
インターネット基盤整備基金資産受取利息	17,776,529	19,867,933	△ 2,091,404
ICANN等積立資産受取利息	11	7	4
② 受取会費	(90,200,000)	(95,500,000)	(△5,300,000)
正会員受取会費	85,700,000	91,200,000	△ 5,500,000
賛助会員受取会費	4,500,000	4,300,000	200,000
③ 事業収益	(410,717,750)	(455,042,039)	(△44,324,289)
インターネット基盤整備事業収益	48,950,692	100,813,521	△ 51,862,829
IPアドレス事業収益	361,767,058	354,228,518	7,538,540
④ 受取助成金	(55,000)	(130,000)	(△75,000)
受取助成金	55,000	130,000	△ 75,000
⑤ 受取寄付金	(22,726)	(794,791)	(△772,065)
受取寄付金振替額	22,726	794,791	△ 772,065
⑥ 雑収益	(41,996,822)	(47,751,635)	(△5,754,813)
受取利息	5,700	5,268	432
受取配当金	36,010,000	42,381,000	△ 6,371,000
雑収益	5,981,122	5,365,367	615,755
経常収益計	560,990,729	619,551,630	△ 58,560,901
(2) 経常費用			
① 事業費	(412,736,414)	(468,691,232)	(△55,954,818)
インターネット基盤整備事業費	133,974,924	174,398,814	△ 40,423,890
IP事業費	278,761,490	294,292,418	△ 15,530,928
② 管理費	(92,629,380)	(91,515,348)	(1,114,032)
管理費	92,629,380	91,515,348	1,114,032
経常費用計	505,365,794	560,206,580	△ 54,840,786
評価損益等調整前当期経常増減額	55,624,935	59,345,050	△ 3,720,115
特定資産評価損益等	49,912,061	△ 37,642,802	87,554,863
評価損益等計	49,912,061	△ 37,642,802	87,554,863
当期経常増減額	105,536,996	21,702,248	83,834,748
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	23	3	20
経常外費用計	23	3	20
当期経常外増減額	△ 23	△ 3	△ 20
税引前当期一般正味財産増減額	105,536,973	21,702,245	83,834,728
法人税、住民税及び事業税	12,108,413	2,791,900	9,316,513
法人税等調整額	△ 7,772,068		△ 7,772,068
当期一般正味財産増減額	101,200,628	18,910,345	82,290,283
一般正味財産期首残高	1,997,132,975	1,978,222,630	18,910,345
一般正味財産期末残高	2,098,333,603	1,997,132,975	101,200,628
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	1,825,510	△ 1,825,510
一般正味財産への振替額	△ 22,726	△ 794,791	772,065
当期指定正味財産増減額	△ 22,726	1,030,719	△ 1,053,445
指定正味財産期首残高	1,030,719	0	1,030,719
指定正味財産期末残高	1,007,993	1,030,719	△ 22,726
III 正味財産期末残高	2,099,341,596	1,998,163,694	101,177,902

正味財産増減計算書内訳表

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (インターネット基盤整備事業)	その他会計 (IP事業)	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	(11)	(0)	(17,998,420)		(17,998,431)
減価償却引当資産受取利息	0	0	221,891		221,891
IN基盤整備基金資産受取利息	0	0	17,776,529		17,776,529
ICANN等積立資産受取利息	11	0	0		11
受取会費	(0)	(0)	(90,200,000)		(90,200,000)
正会員受取会費	0	0	85,700,000		85,700,000
賛助会員受取会費	0	0	4,500,000		4,500,000
事業収益	(48,950,692)	(361,767,058)	(0)		(410,717,750)
IN基盤整備事業収益	48,950,692	0	0		48,950,692
IP事業収益	0	361,767,058	0		361,767,058
受取助成金	(55,000)	0	0		(55,000)
受取助成金	55,000	0	0		55,000
受取寄付金	(22,726)	(0)	(0)		(22,726)
受取寄付金振替額	22,726	0	0		22,726
雑収益	(4,928,294)	(31,428)	(37,037,100)		(41,996,822)
受取利息	0	0	5,700		5,700
受取配当金	0	0	36,010,000		36,010,000
雑収益	4,928,294	31,428	1,021,400		5,981,122
経常収益計	53,956,723	361,798,486	145,235,520		560,990,729
(2) 経常費用					
事業費	(133,974,924)	(278,761,490)	(0)		(412,736,414)
給与手当	62,764,157	84,810,671	0		147,574,828
退職給付費用	4,060,522	5,094,900	0		9,155,422
賞与引当金繰入額	9,584,578	14,581,128	0		24,165,706
法定福利費	9,114,180	12,584,986	0		21,699,166
福利厚生費	211,232	288,512	0		499,744
会議費	33,561	843	0		34,404
交際費	370,418	5,625	0		376,043
旅費交通費	62,439	44,452	0		106,891
通信運搬費	4,096,491	8,099,490	0		12,195,981
減価償却費	4,459,864	17,886,462	0		22,346,326
消耗什器備品費	1,127,341	1,539,783	0		2,667,124
消耗品費	667,989	957,931	0		1,625,920
保守料	2,970,812	20,611,258	0		23,582,070
図書費	4,254	9,990	0		14,244
印刷製本費	1,511,487	2,049,945	0		3,561,432
光熱水料費	1,775,205	3,084,670	0		4,859,875
その他賃借料	5,075,430	10,275,007	0		15,350,437
不動産賃借料	17,227,742	23,530,575	0		40,758,317
機器賃借料	0	1,306,200	0		1,306,200
火災保険料	8,715	11,903	0		20,618
保険料	1,407	1,922	0		3,329
諸謝金	2,039,741	736,303	0		2,776,044
租税公課	3,111,837	21,460,796	0		24,572,633
支払負担金	416,340	37,306,297	0		37,722,637
支払助成金	5,284	7,217	0		12,501
研修費	112,267	153,341	0		265,608
業務委託費	2,673,970	11,764,775	0		14,438,745
支払手数料	324,796	334,058	0		658,854
雑費	162,865	222,450	0		385,315
管理費	(0)	(0)	(92,629,380)		(92,629,380)
給与手当	0	0	33,263,208		33,263,208
退職給付費用	0	0	2,500,720		2,500,720
賞与引当金繰入額	0	0	5,076,589		5,076,589
法定福利費	0	0	4,795,541		4,795,541
福利厚生費	0	0	144,256		144,256
会議費	0	0	1,550,377		1,550,377
交際費	0	0	4,271		4,271
旅費交通費	0	0	34,519		34,519
通信運搬費	0	0	2,373,846		2,373,846
減価償却費	0	0	2,670,108		2,670,108
消耗什器備品費	0	0	769,892		769,892
消耗品費	0	0	442,359		442,359
保守料	0	0	2,028,847		2,028,847
図書費	0	0	2,906		2,906
印刷製本費	0	0	1,728,422		1,728,422
光熱水料費	0	0	1,212,335		1,212,335
その他賃借料	0	0	1,375,503		1,375,503
不動産賃借料	0	0	11,765,287		11,765,287
火災保険料	0	0	5,952		5,952
保険料	0	0	961		961
諸謝金	0	0	14,303,578		14,303,578
損害保険料	0	0	103,000		103,000
租税公課	0	0	3,170,458		3,170,458
支払負担金	0	0	284,329		284,329
支払助成金	0	0	3,609		3,609
研修費	0	0	76,671		76,671
業務委託費	0	0	2,665,193		2,665,193
支払手数料	0	0	165,418		165,418
雑費	0	0	111,225		111,225
経常費用計	133,974,924	278,761,490	92,629,380		505,365,794
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 80,018,201	83,036,996	52,606,140		55,624,935
特定資産評価損益等	0	0	49,912,061		49,912,061
評価損益等計	0	0	49,912,061		49,912,061
当期経常増減額	△ 80,018,201	83,036,996	102,518,201		105,536,996
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	23		23
経常外費用計	0	0	23		23
当期経常外増減額	0	0	△ 23		△ 23
税引前当期一般正味財産増減額	△ 80,018,201	83,036,996	102,518,178		105,536,973
法人税、住民税及び事業税	0	12,038,413	70,000		12,108,413
法人税等調整額	0	△ 7,772,068	0		△ 7,772,068
当期一般正味財産増減額	△ 80,018,201	78,770,651	102,448,178		101,200,628
一般正味財産期首残高	△ 75,713,840	788,397,552	1,284,449,263		1,997,132,975
一般正味財産期末残高	△ 155,732,041	867,168,203	1,386,897,441		2,098,333,603
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 22,726	0	0		△ 22,726
当期指定正味財産増減額	△ 22,726	0	0		△ 22,726
指定正味財産期首残高	1,030,719	0	0		1,030,719
指定正味財産期末残高	1,007,993	0	0		1,007,993
III 正味財産期末残高	△ 154,724,048	867,168,203	1,386,897,441		2,099,341,596

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券…該当なし。
- ②子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法によっている。
- ③満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
 - ・時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
 - ・時価のないもの…該当なし。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

- 法人税法に定める方法によっている。なお主な耐用年数は以下のとおり。
- ・1998年(平成10年)4月1日以降に取得した建物と同一性を有する建物附属設備並びに2016年(平成28年)4月1日以降に取得したその他の建物附属設備及び構築物…定額法(6年～15年)
- ・上記以外の建物附属設備及び構築物…定率法(6年～15年)
- ・什器備品…定率法(2年～15年)

②無形固定資産

- ・ソフトウェアの減価償却は5年間の均等償却によっている。

(3) 外貨建有価証券の本邦通貨への換算

外貨建有価証券は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替差損益として別掲せず、評価損益に含めて処理している。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の内、当期に帰属する額を計上している。

②貸倒引当金

債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
ICANN等積立資産				
普通預金	1,030,726	11	22,728	1,008,009
小計	1,030,726	11	22,728	1,008,009
減価償却引当資産				
定期預金	201,719,173			201,719,173
小計	201,719,173	0	0	201,719,173
インターネット基盤整備基金資産				
外国債券・仕組債	824,599,011	167,534,886	132,910,477	859,223,420
定期預金	150,000,000			150,000,000
普通預金	219,254,477	129,260,700	113,973,048	234,542,129
小計	1,193,853,488	296,795,586	246,883,525	1,243,765,549
合計	1,396,603,387	296,795,597	246,906,253	1,446,492,731

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
ICANN等積立資産	1,008,009	(1,007,993)	(16)	0
減価償却引当資産	201,719,173	0	(201,719,173)	0
インターネット基盤整備基金資産	1,243,765,549	0	(1,243,765,549)	0
合 計	1,446,492,731	1,007,993	1,445,484,738	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	35,176,251	25,227,153	9,949,098
什器備品	196,426,975	167,786,237	28,640,738
ソフトウェア	327,291,212	296,200,739	31,090,473
合 計	558,894,438	489,214,129	69,680,309

5 法人の採用する退職給付制度

確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けている。

6 事業費及び管理費の形態別分類

事業費及び管理費の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	事業費			管理費	合計
	IN基盤整備事業費	IP事業費	事業費合計		
給料手当	62,764,157	84,810,671	147,574,828	33,263,208	180,838,036
退職給付費用	4,060,522	5,094,900	9,155,422	2,500,720	11,656,142
賞与引当金繰入額	9,584,578	14,581,128	24,165,706	5,076,589	29,242,295
法定福利費	9,114,180	12,584,986	21,699,166	4,795,541	26,494,707
福利厚生費	211,232	288,512	499,744	144,256	644,000
会議費	33,561	843	34,404	1,550,377	1,584,781
交際費	370,418	5,625	376,043	4,271	380,314
旅費交通費	62,439	44,452	106,891	34,519	141,410
通信運搬費	4,096,491	8,099,490	12,195,981	2,373,846	14,569,827
減価償却費	4,459,864	17,886,462	22,346,326	2,670,108	25,016,434
消耗什器備品費	1,127,341	1,539,783	2,667,124	769,892	3,437,016
消耗品費	667,989	957,931	1,625,920	442,359	2,068,279
保守料	2,970,812	20,611,258	23,582,070	2,028,847	25,610,917
図書費	4,254	9,990	14,244	2,906	17,150
印刷製本費	1,511,487	2,049,945	3,561,432	1,728,422	5,289,854
光熱水料費	1,775,205	3,084,670	4,859,875	1,212,335	6,072,210
その他賃借料	5,075,430	10,275,007	15,350,437	1,375,503	16,725,940
不動産賃借料	17,227,742	23,530,575	40,758,317	11,765,287	52,523,604
機器賃借料	0	1,306,200	1,306,200	0	1,306,200
火災保険料	8,715	11,903	20,618	5,952	26,570
保険料	1,407	1,922	3,329	961	4,290
諸謝金	2,039,741	736,303	2,776,044	14,303,578	17,079,622
損害保険料	0	0	0	103,000	103,000
租税公課	3,111,837	21,460,796	24,572,633	3,170,458	27,743,091
支払負担金	416,340	37,306,297	37,722,637	284,329	38,006,966
支払助成金	5,284	7,217	12,501	3,609	16,110
研修費	112,267	153,341	265,608	76,671	342,279
業務委託費	2,673,970	11,764,775	14,438,745	2,665,193	17,103,938
支払手数料	324,796	334,058	658,854	165,418	824,272
雑費	162,865	222,450	385,315	111,225	496,540
合 計	133,974,924	278,761,490	412,736,414	92,629,380	505,365,794

7 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:円)

未払事業税	1,088,328
賞与引当金	6,108,310
貸倒引当金	20,238
減価償却超過額	555,192
繰延税金資産合計	7,772,068

8 資産除去債務に関する注記

当法人は、オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来オフィスを移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

9 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債、仕組預金)のみである。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

インターネット基盤整備基金資産のうち投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	22,726
ICANN等事業費計上による振替額	

附属明細書

1 特定資産の明細

財務諸表の注記2「特定資産の増減額及び残高」にて記載している。

2 引当金の明細

(単位:円)

名 称	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	28,888,513	29,242,295	28,888,513		29,242,295
貸倒引当金	172,638	0			172,638

財 産 目 録

2021年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	421,515,602	
現金 現金手許有高	176,217	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	110,511,832	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	23,971,080	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	22,728	
普通預金 みずほ銀行東京中央支店	286,833,745	
未収金	17,668,384	
未収利息	2,684,366	
前払金 事務局家賃/IX費用等/会計ソフト使用料	5,181,722	
前払費用 サーバ等の保守料	7,618,049	
貸倒引当金	△ 172,638	
流動資産合計		454,495,485
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
ICANN等積立資産	1,008,009	
普通預金:三菱UFJ銀行神保町支店	1,008,009	
減価償却引当資産	201,719,173	
定期預金:大和ネクスト銀行ペンテン支店	201,719,173	
インターネット基盤整備基金資産	1,243,765,549	
国内公社債・外国債券等	859,223,420	
定期預金:三菱UFJ銀行神保町支店	150,000,000	
普通預金:三井住友銀行東京営業部	234,542,129	
特定資産合計	1,446,492,731	
(2) その他固定資産		
建物附属設備	9,949,098	
什器備品	28,640,738	
ソフトウェア	31,090,473	
電話加入権	1,385,136	
敷金	34,706,000	
関連会社株式 (株)日本レジストリサービス 株式 1385株	140,170,000	
長期前払費用 サーバ等の保守料	4,498,221	
繰延税金資産	7,772,068	
その他の固定資産合計	258,211,734	
固定資産合計		1,704,704,465
資産合計		2,159,199,950
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	17,178,459	
前受金	550,000	
預り金 住民税等	775,900	
賞与引当金	29,242,295	
未払消費税等	7,358,200	
未払法人税等	4,753,500	
流動負債合計		59,858,354
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		59,858,354
正味財産		2,099,341,596

公益目的支出計画実施報告書

【2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の概要】

1.	公益目的財産額	2,588,456,331 円
2.	当該事業年度の公益目的収支差額((1)+(2)-(3))	667,900,763 円
	(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	587,882,562 円
	(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	133,974,924 円
	(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	53,956,723 円
3.	当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,920,555,568 円
4.	2の欄に記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由 計画作成時点の見込に比べ、当該事業における収入が上回り、支出が下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の残りの実施期間および今後の当該事業の実施規模を鑑みて、実施期間は据え置いている。	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	2036年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円
公益目的収支差額	780,282,035 円	587,882,562 円	895,795,969 円	667,900,763 円	1,011,309,903 円
公益目的支出の額	145,313,934 円	174,398,814 円	145,313,934 円	133,974,924 円	145,313,934 円
実施事業収入の額	29,800,000 円	106,570,820 円	29,800,000 円	53,956,723 円	29,800,000 円
公益目的財産残額	1,808,174,296 円	2,000,573,769 円	1,692,660,362 円	1,920,555,568 円	1,577,146,428 円

独立監査人の監査報告書

2021年5月6日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 後藤 滋樹 殿

横浜みなと会計事務所
神奈川県横浜市
公認会計士

監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの2020年4月1日から2021年3月31日までの2020事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅡ-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監事監査報告書

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 後藤 滋 樹 殿

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

監事 青木 邦哲 印

2021年 4月 30日

監事 高宮 展樹 印

2021年 4月 30日

監事 西脇 孝博 印

2021年 4月 30日

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一. 事業報告及びその他附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上